

子育ては

3
MARCH

夢そだて

今月の
花まる賞



ぼくのわたりの五七五

ハンカチも わくわくしてる おでかけた
ゆきむしや ふわりふわりと とんでいく
富士山と 高速道路で かくれんぼ

大分県 青松 叶玲ちゃん(3歳の時)
宮城県 門脇 悠大くん(3歳)
神奈川県 芥川 卓也くん(4歳)



愛知県
加賀田 麻衣ちゃん(5歳)
お絵描きやダンスが大好きです。未来の乗り物と、大好きな梨とりんごを描きました。様々なとんぼもきれいに描けました。



大阪府
大田区 浅井 尚樹くん(5歳)
「海見参」
葉っぱを公園で拾ってきて、この葉っぱで魚や鳥を作ったらしいね!と言って、紙の上にベタベタ貼っていききました。海辺を飛んでいる鳥と、海の中の魚、そして潜水艦はみんな兄弟で仲良しなんだよ、と言って教えてくれました。

特集 21世紀の幼児教育 vol.87 右脳教育で障害も消せる・・・1~4

- 子育て親子対談 子育てに大切なこと・・・5 ●鳥代先生のワンポイントアドバイス 読者が聞いた疑問・・・6
- 夢そだてトーク 越山雅代さんを迎えて・・・7~8 ●この親子の姿に・・・9 ●絵から始めるのびのび子育て・・・10
- 子育てヨーロッパ事情・・・10 ●子育てQ&A・・・11~12 ●子育て食育情報 生体リズムを取り戻そう・・・13
- 厚社長のちょっといいはなし・・・14 ●Voice & Voice!はか・・・15~16
- 生徒募集・講演会情報・子どもを良くする魔法の種・・・17 ●豆知識・Shichida Information はか・・・18



ゲスト対談 夢ぞだてトーク

七田眞

こしやま まさよ

越山雅代さん

第25回

S O D A T E T A L K
U M E I

アメリカでたくさんの人を元気にしてきて、
今心身を病む日本人をなんとか元気にしたい(越山)

アメリカにはネット自殺も無いし

「引きこもり」もアトピーもありません

七田 ■ 今、越山さんはどういうお仕事をなさっていますか。

越山 ■ 「日本を元気にする運動」という活動です。

アメリカで私達は、自分達や家族の真の健康を得る自然の改善方法を見つけて出し、素晴らしい結果を出しました。その方法を日本の方々に伝える、心身共ににより健康になってもいい、明るく元気な日本を作りたい、というところから始めました。

七田 ■ なるほど、そういう活動をされているんですね。

越山 ■ 私、昔はすごく体が弱かったんです。それが自然の方法ですごく元気になりました。また、三浪で「ずい嵐所」だったのも元気にして、ハーバード大学、大学院まで入れました。今は建築家として活躍しています。また、アメリカで知り合った、多くの人たちを元気になりました。能力があるのに埋もれてしまったかもしれない人たちに会って、

それぞれの道で最高に輝けるようにしてきました。

七田 ■ それでアメリカで、アメリカのドクターよりもたくさんの人を救ったと言われているんですね。アメリカでそういう貢献をした女性100人の中の一人に日本人で唯一選ばれた、すばらしいことですね。

越山 ■ 自分の体が弱かったことから始めて、どこも健康を追求しました。そしていいことを全部やったら元気になる、はつきりわかったのです。

日本の中にいるとわからないかもしれませんが、今問題になっているインターネット自殺や引きこもり、アトピー、どれも日本独特のものです。体の調子が悪かったら、元気になるのと、やる気を出せとか言われても、前向きになりませんよね。

七田 ■ そうですね。

越山 ■ たまたま私は外国にいて、心と体の両方の健康を追求してきました。いちばん健康に悪影響を与えているのは重金属です。日本は水俣病で有名な国なのに、歯の治

今回のゲストはアメリカでさまざまなビジネスを成功させ、アメリカの日本語新聞のコラムでも多くの人を元気つけてきた越山雅代さんです。ご自身が健康を手にするまでの体験から、健康にかけると思いは人一倍熱い越山さん。「マシンガン雅代」というニックネームのとおり、すごい情熱と早口で、日本人の心身の健康について、七田眞と熱いトークをしてくださいました。



ゲスト 越山雅代さん

Profile

こしやま まさよ

札幌生まれ、上智大学、スーツケース®®とアメリカン・ドリームでアメリカに渡り若くして夢を達成。女手一つで三浪の浪をハーバード大学の大学院まで卒業させる。木材輸出業、不動産業、出版業、その他を手がけるかたわら、栄養食品の販売で全米10万人の中で5年間トップ、アメリカ最大の銀行から、「最優秀輸出会社」としても讃げられる。「シカゴで最も傑出した女性100人」に選ばれた唯一の日本人女性。アメリカの日本語新聞に連載のコラムが、読むだけで元気が出ると思われ人気となる。彼女のアドバイスやメンタリングを受け人生が180度好転したという人多数。

「日本を元気にする運動」の創始者、日本人の心身の健康を思い、種々の日本全国で啓蒙・教育活動を行っている。

著書に「命運へのダイナマイク」(PHP研究所)、「健康大革命」(KKロングセラーズ)など。

詳しくは <http://www.masayo.us/>まで。

際に水銀の入ったアマルガムが使われてきました。七田■確かに、日本でもアマルガムを使用していたら駄目だつて大いに言われていますね。

越山■歯の治療のフッ素も、日本の目薬も、いろんな薬に亜鉛が入っています。

七田■目薬にも入っているんですか。

越山■ええ、水銀が入っています。体の調子の悪かった私の友人が水銀の治療をしたら、二ヶ月も経たないうちに、そこで私は35年自然治療をやっている歯科医に会い、ハーブに微量電気を充電した解毒のためのサプリメントを作ってもらいました。それでがんを治した人もいます。

七田■すばらしいハーブのサプリメントがあるんですね。

越山■自閉症やリウマチ、認知症(痴呆症)にも効果があります。栄養治療でもある程度よくりますが、現代人は水銀とか他の亜鉛の毒がたまっているのです。せつかくの栄養も解毒させないと効きません。

今は、食へておなかが膨れればいとい
思っている、現代型栄養失調がいろいろ

七田■なるほど、何より第二に解毒をして栄養補強をするという考えが大切です。日本でも「まず解毒」という考え



体に入っている毒をとり、栄養をチームワークで
考えることが大切なんです。(七田)

が広がり始めています。

越山■アメリカは食のイメージがよくないですよ。でも優れた研究者もたくさんいるんです。化学物質を使った新薬は表面しか治さないと、ということがわかり、今までは、代替治療として鍼とか自然の治療や心の治療もするようになりました。本来自然治療はともいえるもので、アメリカではそれがまた新しい形で紹介されたのです。そしてわかったのは、私たちが紹介したのは、全部ハーブのおかげだということです。トクダミとかアロエはもちろん、ニンジンとかキャベツも、とにかく植物は全部ハーブです。海藻もそうなんです。

七田■海藻もハーブなんですか。ハーブについての考え方がかわりますね。驚きです。

越山■今まではあまりにも自然で科学的証明がなかった、最も古くて、最も新しいものです。それを分析して科学的な証明をする学者たちが出てきています。今アメリカの人口の80%は西洋医学だけでなく、鍼やアロマセラピー、氣功といった自然治療を併用しているんです。

七田■日本でも自然治療に目を向けるお医者様が増えていますよ。「代替治療」という考え方が広がってきています。

越山■しかしながら今の私たちは、「現代型栄養失調」です。カロリーと栄養の違いがわからない。食へていけばいいと思う。だから本当に必要な栄養が摂れていないんです。

七田■「現代型栄養失調」という考えは、日本ではまだ一般に知られていない考えです。これは広く知ってもらわなくては……。

越山■白米、麺類、お菓子。全部炭水化物からできています。それでおなかが膨らましているから、他の栄養を摂っていない。炭水化物は体の中で糖分に変わり、体が燃焼し、低血糖になり、子どもも大人もすぐキレます。

いろいろな栄養がないとエネルギーにならないし、いろいろな栄養を効かせるためには、いろいろなミネラルが必要になる。栄養もチームワーク、単独プレーはできない。

ビタミンAだけを与えても吸収できないんです。

七田■栄養のチームワークという考え方はとても新鮮です。組み合わせで相性が悪かったり、よかったですね。

越山■はい。そしてお母さんがまず健康になって、心も安定して幸せになることです。そうしないと子どもは絶対変わりません。お母さんがイライラせず明るくなったら、子どもも安定しいい子になりますよ。お母さんがいいことをみんなに広げていってほしいのです。日本のお母さん一人ひとりが1%でもいいことをしたら日本は変わりますよ。

七田■これからは本当に女性の時代ですね。女性にしっかりと責任をもちたい。それは精神面でもそうなんです。情報面でもそうです。お母さん教育から始まるという越山さんの考え方は的を射ていますね。「日本を元気にする運動」というネーミングの意味がよくわかりました。

越山■みんなのこれからの幸せと健康のために、活動できるなんて光栄ですよ。講演等、呼ばれればどこでも喜んで行きます。

